

川辺川と五木小川の合流点に設置した導流堤ができるまで（令和元年度実施）

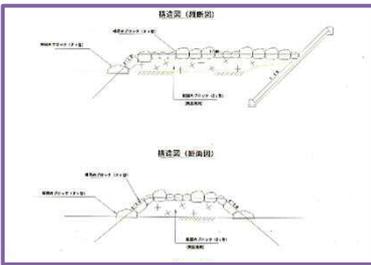


施工前

【今回の導流堤設置の目的】

川辺川と五木小川の合流点において、合流後の川辺川左岸の土砂の堆積を防止し流路を維持するために設置することを目的としています。

また、合流点護岸の保護の役割も担います。



導流堤の構造図をもとに、施工を行っていきます。



①導流堤内部に設置するブロックの位置出し

構造図に基づき、現場でブロックの位置を決定します。



②導流堤内部に設置するブロックの配置

①で作成した配置図・位置出しを元に、完成形を考慮し、ブロックを設置していきます。



③現地発生土充填・成型

ブロックの空隙部に土を充填し、ブロックの外側に使用する外観に配慮した製品であるメガロストーン及び流石が施工できるように成型します。



④導流堤の外側に設置するメガロストーン据付1

外観に配慮した二次製品ブロックのメガロストーン及び流石（法覆工）の向きを揃えながら、バックホウ（クレーン仕様）を使って据付ます。



⑤導流堤の外側に設置するメガロストーン据付2

メガロストーンと流石を設置した後、空隙部に岩砕と土砂を充填しブロックを安定させます。



⑥袋詰玉石設置

袋詰玉石を監督員の指示に従って流水が強く当たる箇所に設置します。特に根元の部分は安定するように設置します。



完成